

MUGC／フィデリティ・トラストー

# フィデリティ・北米経済圏・ 新成長株式ファンド

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

米ドル建 米ドルヘッジクラス受益証券  
円建 円ヘッジクラス受益証券  
円建 為替ヘッジなしクラス受益証券

## 交付運用報告書

作成対象期間 第9期

(2021年6月1日～2022年5月31日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ルクセンブルク三菱UFJ  
インベスターサービス銀行S.A.**

代行協会

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
株式会社**

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

MUGC／フィデリティ・トラストー フィデリティ・北米経済圏・新成長株式ファンド(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第9期の決算を行いました。

ファンドは、主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式への投資を通じて、長期的な元本の成長を目指します。カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともあります。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産価額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	0.012045米ドル	18,429,601.75米ドル
円建 円ヘッジクラス	1.1613円	41,706,340円
円建 為替ヘッジなしクラス	1.4194円	878,445,988円
第9期		
	騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	3.19%	0.001299米ドル
円建 円ヘッジクラス	1.81%	0.1013円
円建 為替ヘッジなしクラス	21.07%	0.1572円

(注1) 1口当たり純資産価格および純資産価額は、財務書類における数値を記載しており、取引日(評価日)付で公表されている1口当たり純資産価格および純資産価額の数値と一致しない場合があります。以下同じです。

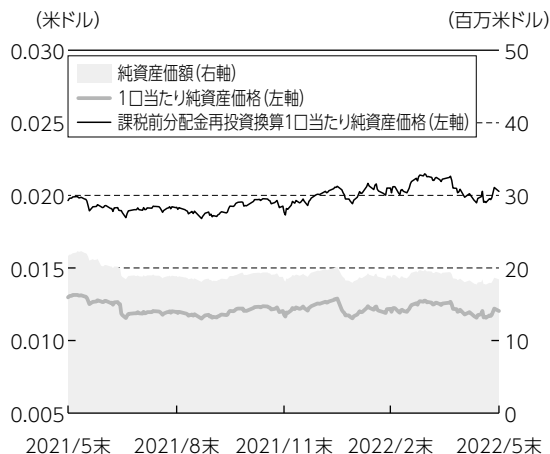
(注2) 騰落率は、公表されている1口当たり純資産価格に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出された評価日付の課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

(注3) 1口当たり分配金の金額は、税引前の金額を記載しています。以下同じです。

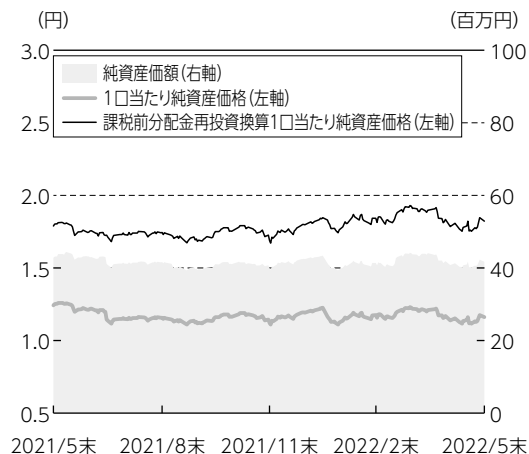
## 《運用経過》

## 当期の1口当たり純資産価格等の推移について

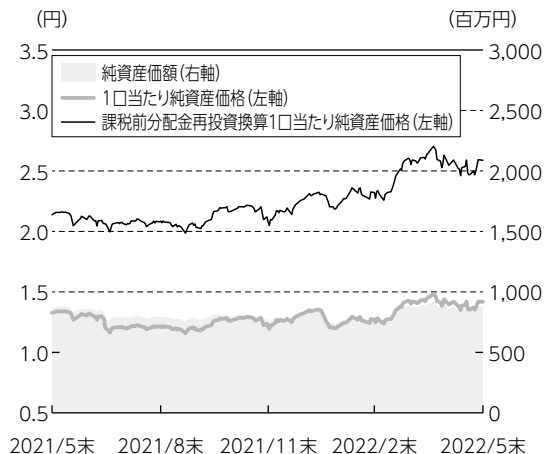
米ドル建 米ドルヘッジクラス



円建 円ヘッジクラス



円建 為替ヘッジなしクラス



(注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、各クラスの公表されている1口当たり純資産価格に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、運用開始日(2013年7月12日)の受益証券1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されておりません。

	第8期末の 1口当たり純資産価格:	第9期末の 1口当たり純資産価格:	第9期中の1口当たり 分配金合計額:	騰落率:
米ドル建 米ドルヘッジクラス	0.012975米ドル	0.012045米ドル	0.001299米ドル	3.19%
円建 円ヘッジクラス	1.2428円	1.1613円	0.1013円	1.81%
円建 為替ヘッジなしクラス	1.3269円	1.4194円	0.1572円	21.07%

### ■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

当期中、ファンドの1口当たり純資産価格の変動に影響を与えた主な要因は次のとおりです。

(プラス要因)ヘルスケアセクターにおいて保有していた銘柄の値上がり等

(マイナス要因)情報技術セクターにおいて保有していた銘柄の値下がり等

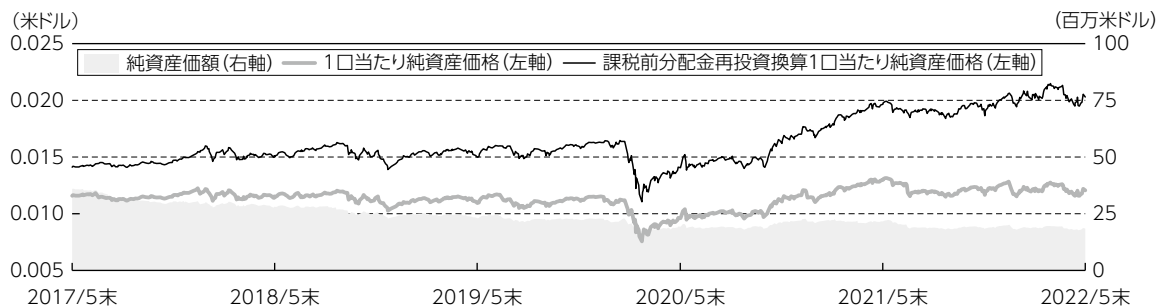
### 費用の明細

項 目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)、 保管報酬および 管理事務代行報酬	純資産価額の年率0.12% (四半期毎に後払い)	管理報酬は、信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。 保管報酬は、保管契約に基づく保管業務の対価として、保管会社に支払われます。 管理事務代行報酬は、管理事務代行契約に基づく管理事務代行業務の対価として、管理事務代行会社に支払われます。
受託報酬	純資産価額の年率0.01% (四半期毎に後払い) (最低年間10,000米ドル)	受託報酬は、信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
投資運用報酬	純資産価額の年率0.80% (四半期毎に後払い)	投資運用報酬は、投資運用契約に基づく投資運用業務の対価として、投資運用会社に支払われます。
販売報酬	純資産価額の年率0.67% (四半期毎に後払い)	販売報酬は、投資者からの申込または買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、販売会社に支払われます。
代行協会会員報酬	純資産価額の年率0.10% (四半期毎に後払い)	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会会員に支払われます。
その他の費用(当期)	0.28%	ファンドの設立、運営、管理および維持に関する一切の費用(仲介手数料、弁護士報酬、監査報酬等を含みますがこれらに限定されません。)として支払われます。

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

## 最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

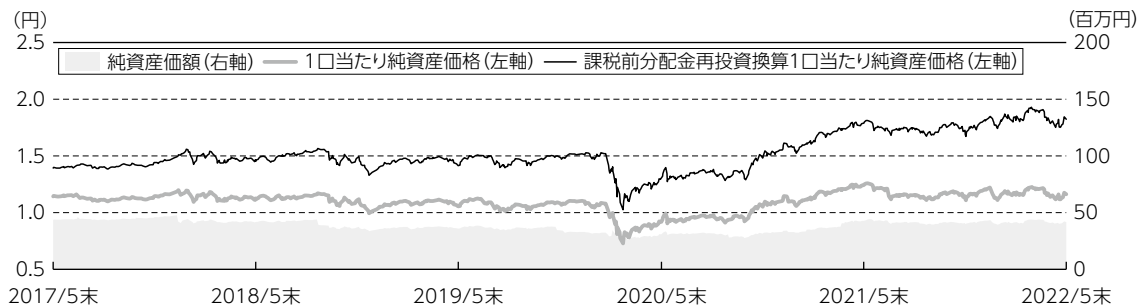
## 米ドル建 米ドルヘッジクラス



	第4期末 2017年5月末日	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日	第9期末 2022年5月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.011539	0.011429	0.010941	0.009612	0.012975	0.012045
1口当たり分配金額 (米ドル)	0.000593	0.000882	0.000481	0.000759	0.000406	0.001299
騰落率 (%)	-	6.67	-0.20	-6.08	39.81	3.19
純資産価額 (米ドル)	35,781,827.02	27,863,356.81	23,031,145.01	19,265,590.27	21,665,305.81	18,429,601.75

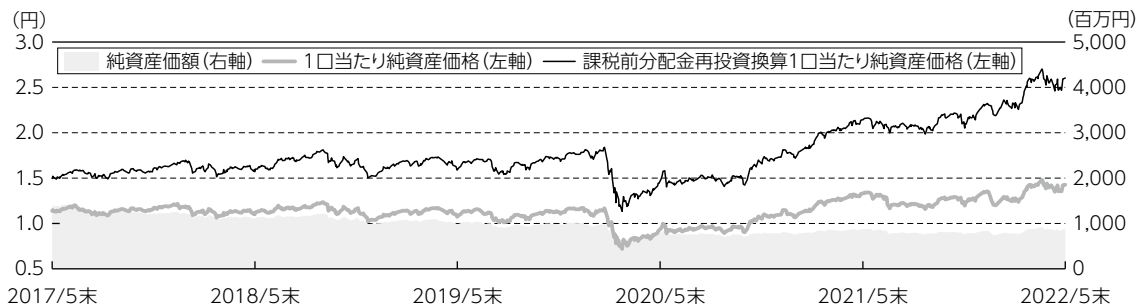
(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## 円建 円ヘッジクラス



	第4期末 2017年5月末日	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日	第9期末 2022年5月末日
1口当たり純資産価格 (円)	1.1377	1.1150	1.0546	0.9188	1.2428	1.1613
1口当たり分配金額 (円)	0.0556	0.0775	0.0322	0.0526	0.0256	0.1013
騰落率 (%)	-	4.77	-2.67	-8.60	38.42	1.81
純資産価額 (円)	43,566,048	41,493,347	35,909,521	30,905,435	42,819,976	41,706,340

## 円建 為替ヘッジなしクラス



	第4期末 2017年5月末日	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日	第9期末 2022年5月末日
1口当たり純資産価格 (円)	1.1304	1.1009	1.0732	0.9143	1.3269	1.4194
1口当たり分配金額 (円)	0.0415	0.0887	0.0423	0.0727	0.0243	0.1572
騰落率 (%)	-	4.99	1.13	-9.22	48.33	21.07
純資産価額 (円)	1,377,586,516	1,103,795,345	977,859,354	772,159,599	870,249,028	878,445,988

## 投資環境について

## ●市場概況

当期1年間、米国株式相場は下落しました(米ドル建てS&P500指数)。市場は、記録的な景気刺激策および新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のワクチン接種の進展を受けて、2021年第3四半期中には確実に回復モードに入りました。幅広いセクターにおける企業業績も、投資家の高い信頼を維持しました。しかしながら、2021年末に新型コロナウイルス感染症のオミクロン株がやや心理的な重しとなりました。2022年第1四半期中、ロシアのウクライナ侵攻を受けて、株式相場は急落しました。第1四半期のGDPは、年率で1.4%下落し、投資家心理はさらに悪化しました。連邦準備制度理事会(FRB)による0.50%の利上げを受け、2022年第2四半期の市場心理は引き続き悪化しました。景気後退への懸念により、市場は年間を通じて変動しました。エネルギー、公益事業および生活必需品セクターの株価が最も上昇し、通信サービスおよび一般消費財セクターの株価が最も下落しました。メキシコボルサ指数は、現地通貨建てと米ドル建てのいずれも上昇しました。

## ポートフォリオについて

## ●運用結果

当期中、ファンドの業績は参考指標を上回りました。パフォーマンスの主要な原動力は、セクター配分でした。ヘルスケアセクターが、とりわけ好調であった一方、ファンドが一般消費財株に対してアンダーウェイトしたことも著しくプラスに寄与しました。情報技術および通信サービスセクター内の銘柄選択が相対パフォーマンスの重石となりました。

ヘルスケアセクターの銘柄は、とりわけ好調でした。医薬品販売会社であるMcKessonの株価は、同社の一貫した一桁半ばの「プラス」な内部的成長率と安定した利益率に対する投資家の信頼の高まりによって支えられました。エネルギー供給停止の可能性を懸念した原油価格とガス価格の高騰を背景に、エネルギー株に対するオーバーウェイトのスタンスがパフォーマンスにとってさらなる追い風となりました。ファンドによるCheniere EnergyおよびBaker Hughesの保有が

プラスに寄与しました。Cheniere Energyは、ロシアのガス供給削減に伴う液化天然ガス配給に対する需要の高まりを背景に良好なパフォーマンスをあげました。同社は、第4四半期業績を報告した後、2022年の見通しを引き上げました。エネルギーサービス会社であるBaker Hughesの株価は、ロシア・ウクライナ危機により原油サービス設備を必要とする追加の原油生産の必要性に注目が集まったことで、上昇しました。原油サービスの市場は、供給薄が企業に価格決定力を与えているため、既にタイトになっています。Dollar Treeの株価は、予想を上回る業績を計上した後に上昇しました。ディスカウント・ストアである同社の株価は、一部の投資家が景気低迷を予測したことを受けて、引き続き上昇しました。

America Movilをアンダーウェイトしていたことがパフォーマンスを悪化させました。同社が固定電話事業と5G事業に投資することを発表した後、株価は上昇しました。さらに、メキシコの規制環境が緩和されました。ソフトウェア・サービス会社であるSalesforceの株価は、主要な中央銀行のタカ派的な姿勢を受けて世界経済に対する見通しが悪化したことに加え、情報技術会社への投資見直しにより下落しました。Salesforceは企業向けソフトウェア市場の多くの分野におけるリーダーであり、時間の経過とともに成長し続けられると思われるため、同社の見通しについては引き続き建設的なものとしています。Appleを保有していなかったことは、ファンドのパフォーマンスにマイナスとなりました。当期中にiPhoneメーカーである同社が記録的な四半期決算を発表した後、株価は上昇しました。

### ● ポジショニングおよびポートフォリオの状況

投資戦略は、バリュエーションが魅力的な企業への投資を重視しています。銘柄選択は、アプローチの中核であり、リスクとリターンを主要な原動力です。戦略は、ポートフォリオに保有されている企業のボトムアップ特性を重視しています。保有銘柄は、高いアクティブ・シェアを通じてインデックスとは異なるものになっています。セクター別で見ると、運用担当者がより高品質の事業の企業を有している工業セクターが最大の保有となっています。

運用担当者は、そのコンテンツ(YouTube)プラットフォームが過小評価されているとして、Alphabetを新規銘柄として組み入れました。広告事業は、急速に損益分岐点に近づいているクラウド事業に加え、循環的な追い風を受けています。またAlphabetは、より値頃な超大型株の一つです。運用担当者は、当期中にSyscoも新規に組み入れました。Syscoは、レストランの大手食品流通会社であり、多様な事業(病院事業、接客業、教育事業/政府事業)を行っています。運用担当者は、インフレを背景に、また経済再開に伴い米国の消費が商品からサービスへとシフトしていることから、同社の安定した利益率を確信しています。Beck'sおよびOracleの銘柄は売却しました。

### ● 見通し

経済的リスク、地政学的リスクおよび供給リスクが依然として残っているため、市場心理は引き続き冷え込んだ状態が続く可能性があります。インフレ率は持続的に高い状態が続き、世界的な景気低迷が予測される中、金融引締めは現在のペースで続く見通しです。インフレが消費者貯蓄および実質賃金に悪影響を与えているため、大企業が収益予測の見直しを行うことが考えられます。ロシアとウクライナの紛争が続き、中国における新型コロナウイルス感染症によるロックダウンが維持される中、生活必需品の価格高騰およびサプライチェーンの混乱は今後も続く可能性があります。こうした状況を背景に、価格決定力のある優良企業の業績は堅調であることが予想されます。強靱で、長期的な成長を生み出す企業に関する詳細な基礎調査に支えられたボトムアップによる銘柄選択は、投資家に長期的な利益をもたらすと見込まれます。

## 分配金について

当期(2021年6月1日～2022年5月31日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

### 米ドル建 米ドルヘッジクラス

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup>
2021/7/15	0.011850	0.000665 (5.31%)	0.001098
2022/1/18	0.012103	0.000634 (4.98%)	0.000887

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3)2021年7月15日の直前の分配落日(2021年1月15日)における1口当たり純資産価格は、0.011417米ドルでした。

(注4)「分配落日」には、分配方針に基づき当該日における分配が可能であったが実際には分配金が支払われなかった日を含みます。以下同じです。

### 円建 円ヘッジクラス

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2021/7/15	1.1458	0.0531 (4.43%)	0.1028
2022/1/18	1.1660	0.0482 (3.97%)	0.0684

(注)2021年7月15日の直前の分配落日(2021年1月15日)における1口当たり純資産価格は、1.0961円でした。

### 円建 為替ヘッジなしクラス

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2021/7/15	1.2040	0.0768 (6.00%)	0.1806
2022/1/18	1.2580	0.0804 (6.01%)	0.1344

(注)2021年7月15日の直前の分配落日(2021年1月15日)における1口当たり純資産価格は、1.1002円でした。

## 《今後の運用方針》

ファンドは、引き続き、主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式への投資を通じて、長期的な元本の成長を目指します。ファンドはまた、カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともあります。

## 《お知らせ》

該当事項はありません。

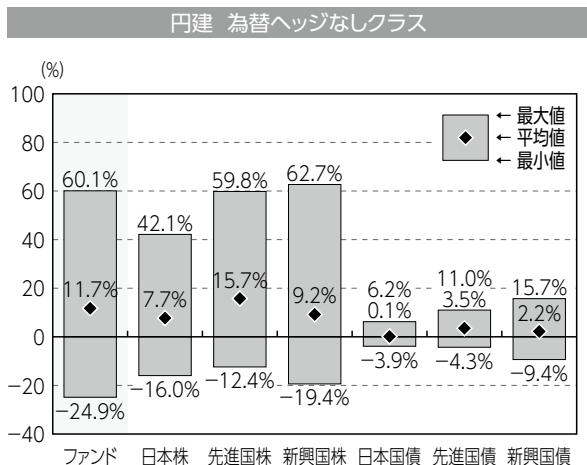
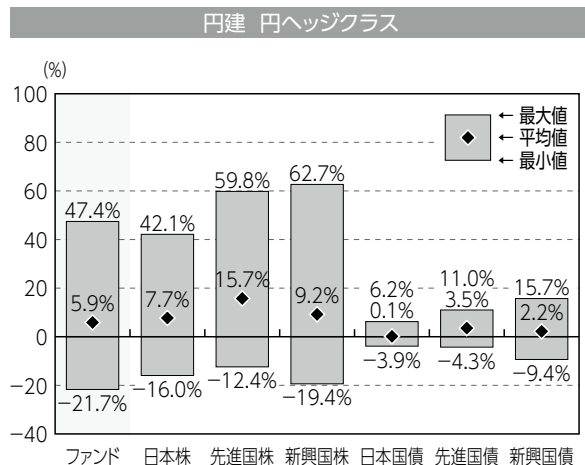
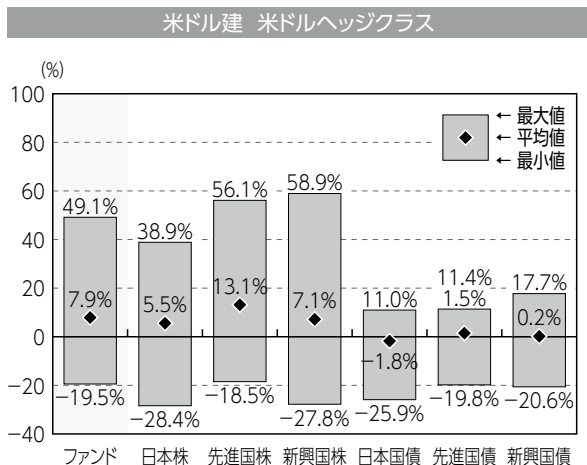
## 《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型
信託期間	ファンドは、2013年7月12日から運用を開始し、2023年7月31日(当該日が営業日でない場合には翌営業日)または管理会社はその完全な裁量により決定する当該日より後の日に終了します。 ただし、繰上償還により当該日より前に終了することがあります。
運用方針	ファンドは、主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式への投資を通じて、長期的な元本の成長を目指します。 カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともあります。
主要投資対象	アメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式
ファンドの運用方法	主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式に投資を行い、長期的な元本の成長を目指します。 カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともあります。 個別企業分析にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。 「米ドル建 米ドルヘッジクラス」「円建 円ヘッジクラス」「円建 為替ヘッジなしクラス」の3つのクラスから構成されています。 投資する資産について、「米ドル建 米ドルヘッジクラス」は対米ドルで、「円建 円ヘッジクラス」は対円で、それぞれ為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 「円建 為替ヘッジなしクラス」は、為替ヘッジを行いません。
分配方針	管理会社は、いずれのクラスに関しても、投資運用会社と協議の上、毎年1月15日および7月15日(当該日が営業日でない場合には翌営業日)に、純投資収益、純実現・未実現キャピタルゲインおよび配当可能資本から分配を宣言することができます。



## (参考情報)

## ● ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業が作成

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※2017年10月から2022年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※このグラフはファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

## &lt;各資産クラスの指数&gt;

**米ドル建 米ドルヘッジクラス**

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

**円建 円ヘッジクラスおよび円建 為替ヘッジなしクラス**

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

## 《ファンドデータ》

## ファンドの組入資産の内容

## ● 組入上位資産

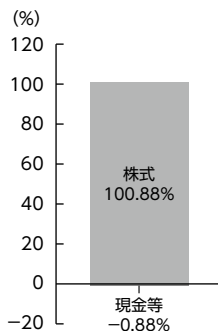
(組入銘柄数: 49銘柄)

(2022年5月31日現在)

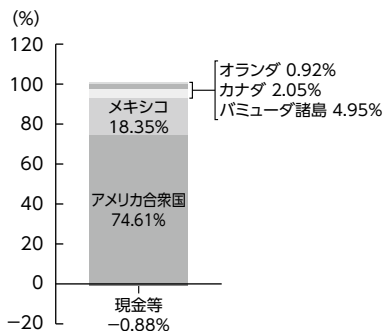
	組入比率
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	5.46%
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	4.32%
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B	4.27%
WELLS FARGO & CO	3.70%
MCKESSON CORP	3.18%
WALMART DE MEXICO SAB DE CV	3.11%
AMERISOURCEBERGEN CORP	3.02%
QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	2.80%
DOLLAR TREE INC	2.69%
RPM INTERNATIONAL INC	2.65%

(注) 組入比率は純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。端数調整方法の相違により、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。以下の各グラフも同様です。

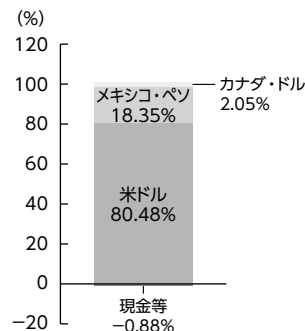
## ● 資産別配分



## ● 国別配分



## ● 通貨別配分



(注1) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注2) 上記の比率は、純資産価額に対する当該資産の金額の割合を四捨五入して記載しています。したがって、合計の数字が100%とならない場合があります。

## 純資産等

第9期末			
クラス名	純資産価額	発行済口数	1口当たり純資産価格
米ドル建 米ドルヘッジクラス	18,429,601.75米ドル	1,530,086,116口	0.012045米ドル
円建 円ヘッジクラス	41,706,340円	35,914,689口	1.1613円
円建 為替ヘッジなしクラス	878,445,988円	618,888,776口	1.4194円

(単位:口)

第9期中			
クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドル建 米ドルヘッジクラス	103,903,087 (103,903,087)	243,555,373 (243,555,373)	1,530,086,116 (1,530,086,116)
円建 円ヘッジクラス	4,613,324 (4,613,324)	3,152,273 (3,152,273)	35,914,689 (35,914,689)
円建 為替ヘッジなしクラス	11,693,569 (11,693,569)	48,680,312 (48,680,312)	618,888,776 (618,888,776)

(注) ( )の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。